

## 第2学年算数科学習指導案

日 時 平成26年11月7日(金) 公開授業Ⅱ  
対 象 2年5組 男13名 女17名 計30名  
指導者 佐々木 加奈

### 1 単元名 かけ算(2)九九をつくろう

### 2 単元の目標

#### 第2学年目標

(1) 具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。

数の意味や表し方についての理解を深めるとともに、加法及び減法についての理解を深め、用いることができるようにする。また、乗法の意味について理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。

乗法の意味について理解を深め、それを用いることができるようにする。

### 3 単元の評価基準

観点	B: おおむね満足できる
算数への関心・意欲・態度	乗法について成り立つ性質やきまりを用いることよきに気づき、乗法九九の構成や計算の仕方を考えることに活用しようとする。
数学的な考え方	乗法について成り立つ性質やきまりを用いて、乗法九九の構成の仕方を考え工夫し、表現している。
数量や図形についての技能	乗法九九(6, 7, 8, 9, 1の段)を構成し、確実に唱えることができる。
数量や図形についての知識・理解	乗法九九について知り、乗法に関して成り立つ性質を理解している。

### 4 単元について

#### (1) 児童について

児童は、前単元のかけ算(1)の学習で、具体物を用いる活動やアレイ図を活用する活動を通して、乗法の意味理解を深めたり同数累加の方法により九九を構成したりしてきた。しかし、九九の答えの暗記に意識が行ってしまい、かけ算の意味や構成の仕方の理解が浅い児童もいる。また、既習内容を活かして解決方法を見出したり、自分の考えを相手にわかるように説明したりすることを苦手としている。

そこで、本単元では九九を自ら構成するとともに、自分の考えを友だちに説明したり、友だちの考えを聞いたりする活動を十分に取り入れる中で、教師が児童の言葉を補いながら話し合いを進めていくことで算数科における言語活動を充実させていきたい。

#### (2) 教材について

本単元では、前単元で学習した乗法の意味、及び5, 2, 3, 4の段の九九に続いて、第1・2小単元で6, 7, 8, 9, 1の段の九九を扱い、これによって九九を完成させる。

九九の構成にあたっては、これまで活用してきた性質(乗数が1増えると積は被乗数分増える)とともに、本単元で学習するきまり(交換法則, 分配法則)やアレイ図などを活用して児童が自ら九九を構成できるようにしている。また、乗法に関する性質やきまりを活用すると同時に、九九の答えを見直すことで、単に九九を覚える学習ではなく、児童の実態に応じて多様な考え方を引き出すようにする。

単元全体を通して、乗法のきまりや性質を活用して九九を構成し、九九を見直すことで新たな性質やきまりを発見していくという学習が繰り返し展開されていくことから、児童にとって学習の流れがわかりやすく、既習を活用しながら学習を進めていくことができる。また、自ら九九を構成する喜びやみんなで乗法の九九の性質やきまりなどを見付けていく楽しさも味わうことができる教材である。

(3) 指導について

第1小単元では、6の段、7の段の九九について取り扱う。ここでは、前単元で扱った「乗数が1増えると、積は被乗数分だけ増える」という関係を積極的に活用して九九を構成するように意図している。

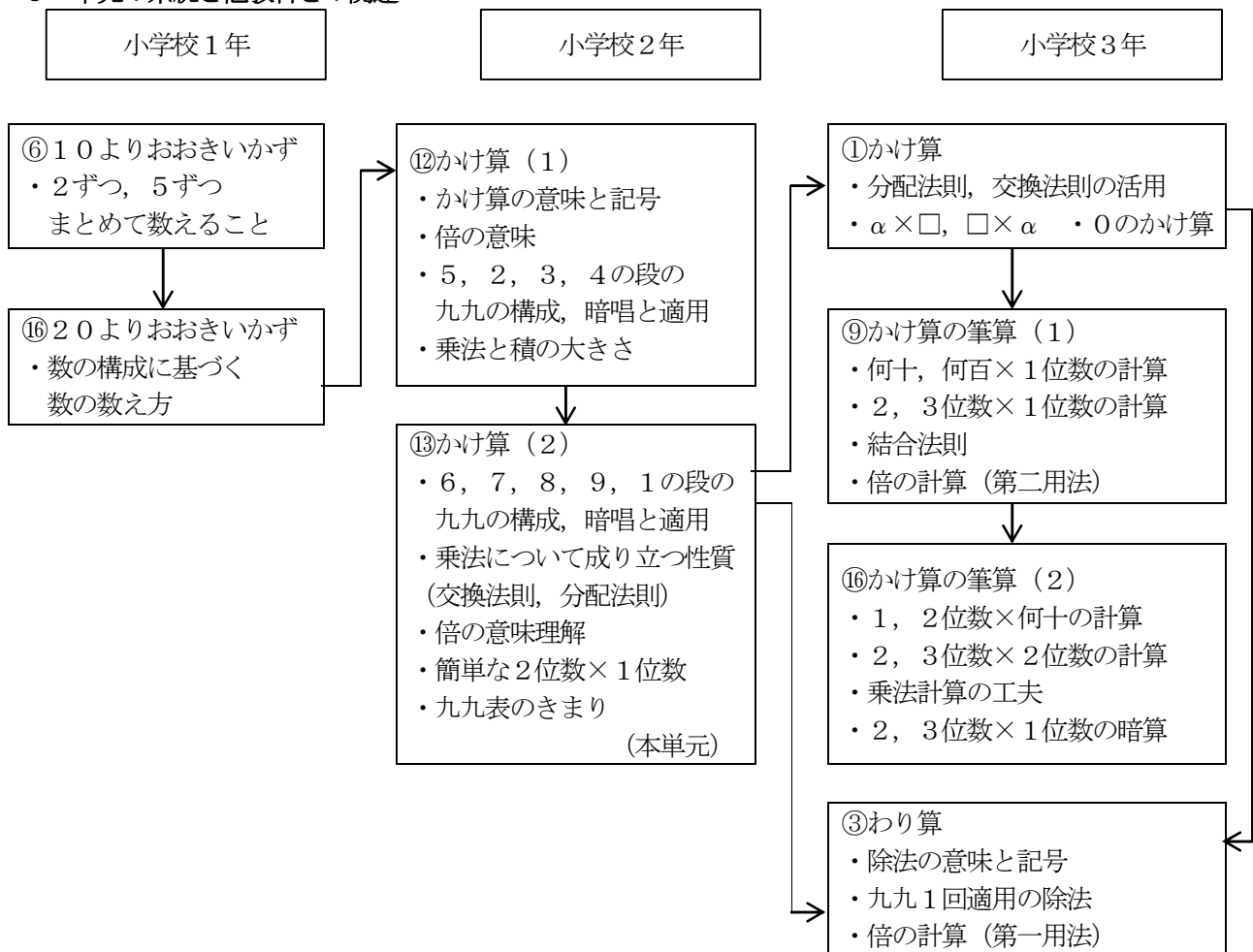
第2小単元では、第1小単元での学習を基にして、8の段、9の段、及び1の段の九九について扱う。九九の構成にあたっては、前時までに九九の構成で活用した計算の性質やきまりを理解し、児童自ら構成できるようにしていく。

第3小単元では、「単位とする大きさのいくつ分」のかけ算の意味と「1つ分の大きさの何倍かにあたる大きさ」を求める場合もかけ算を用いることを関連付けて、倍についての理解を確実にしていく。

第4小単元では、乗法の意味、1～9の各段の九九を学習し終えたところで、これまでに順次発見し活用してきた乗法のきまりについて、改めて九九表から見直しをする。その際には、乗数と積の関係、積の規則性、乗法の交換法則や分配法則などのきまりをとらえながら、乗法の意味と九九についてより一層の理解と習熟を図るようにする。

第5小単元では、これまでの九九の学習を生かして九九を様々な場面に適用し、九九の理解を深めるようにする。

5 単元の系統と他教科との関連



6 単元の指導計画 (17時間扱い)

- |                         |     |         |
|-------------------------|-----|---------|
| (1) 6のだん, 7のだんの九九       | 6時間 | (本時5/6) |
| (2) 8のだん, 9のだん, 1のだんの九九 | 4時間 |         |
| (3) ばいのかげ算              | 1時間 |         |
| (4) 九九のひょうときまり          | 2時間 |         |
| (5) もんだい                | 2時間 |         |
| (6) まとめ                 | 2時間 |         |



(4) 板書計画

かだい

7のだんの九九でも、かけ算のきまりが  
つかえるかしらべよう。

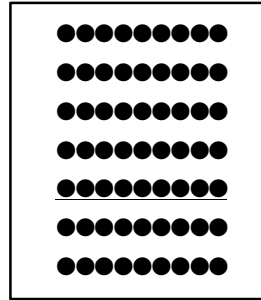
まとめ

7のだんの九九でも、かけ算のきまりが  
つかえる。

かけ算のきまり

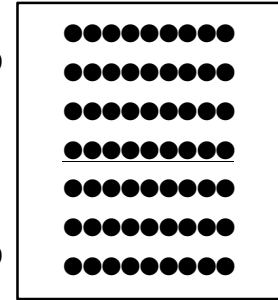
- ①答えにかけられる数をたす
- ②かける数、かけられる数を入れかえる。
- ③かけられる数を分けて計算する。

アレイ図



$5 \times 9$

$2 \times 9$



$4 \times 9$

$3 \times 9$

7のだん = 5のだん + 2のだん

7のだん = 4のだん + 3のだん